

平成 25 年 1 月 17 日

平成 24 年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革 公開フォーラム」

議事次第

公益社団法人 日本産科婦人科学会  
医療改革委員会委員長 海野信也

- 1) **主催**：公益社団法人日本産科婦人科学会・厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「地域における産科医、小児科医の実態把握に関する研究」（研究代表者：海野信也）
- 2) **場所**：東京国際フォーラム ホール D5 (<http://www.t-i-forum.co.jp/>)  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 電話:03-5221-9000
- 3) **日時**：2013 年 1 月 27 日（日曜）13 時から 16 時（予定）
- 4) **テーマ**「産婦人科専攻医が再び減少し始めた。その原因と対策を考える」  
(ア) 発表者による打合せ：12 時から 13 時（昼食を準備）
- 5) **議事次第**：  
(ア) 司会者：杉浦真弓 名古屋市立大学教授・澤倫太郎 医療改革委員会副委員長  
(イ) 挨拶：厚生労働省医政局指導課救急周産期医療等対策室 佐久間 敦 室長  
(ウ) 第 1 部：13:05-14:30：基調報告
  - ① 「産婦人科医数の現状について」：(15 分) 医療改革委員会 海野信也
  - ② 「産婦人科勤務医の就労環境の実態—日本産婦人科医会調査から」：(15 分)  
日本産婦人科医会勤務医部 関口敦子
  - ③ 「周産期医療機関の診療状況（医療資源・治療体制・教育体制）に関する研究」（仮題）：(15 分) 厚労科研・研究班より 鈴木真（亀田総合病院）
  - ④ 「周産期医師の需給推計」：(40 分) 小川浩（神奈川大学経済学部准教授）
  - ⑤ 質疑応答  
(エ) 第 2 部：各地域からの報告：14:30-15:00
  - ① 「兵庫医大の特徴活用型周産期医療支援事業について」 田中宏幸（兵庫医科大学）
  - ② 「埼玉県下の医育機関に於ける後期研修医の動向と今後の視野」 古谷健一（防衛医科大学校）  
(オ) 第 3 部：総合討論：15:00-16:00
- 6) **備考**：本拡大委員会は、公開フォーラムとして開催し、報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を歓迎する。本拡大委員会の記録は、動画形式で海野班ホームページに掲載する。